

## 極端現象予測

### Projection of the change in future weather extremes

# 鬼頭 昭雄 [1]

# Akio Kitoh[1]

[1] 気象研・気候

[1] MRI

超高解像度大気モデルを用いた近未来（約 30 年後まで）および 21 世紀末（約 100 年後）の温暖化予測研究を実施している。これは確度の高い極端現象の予測情報を提供することで、我が国における温暖化環境下での自然災害発生変動の評価およびその社会環境基盤への影響も含む評価体系の構築、ならびに全球および特定脆弱地域を対象に気候変動が洪水リスクへ与える影響を評価し必要な対策シナリオを提案することを目的としている。全球 20km モデルでは、近未来および 21 世紀末の熱帯低気圧その他極端現象を中心にした温暖化予測を、領域 5km および領域 2km 雲解像領域大気モデルにより日本付近の極端現象を対象として高精度で空間的に詳細な温暖化予測を行う。特に顕著な現象については 1km モデルによる計算も実施する。さらに、全球 60km モデルにより複数の海面水温と複数の物理過程を用いた多数のアンサンブル予測計算を実施することにより、予測の不確実性について定量化する。実験のあらまし、数値実験と災害環境変動影響評価の予備的解析結果について述べる。